

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

※今回掲載している工事事故事例(別紙)は、10件分です。11件目の事例(別紙-11)については、原因・対策等を調査中のため、未掲載です。

【工事事故(速報)発生状況】 (H26.11.30現在)

	11月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成26年度(今年度)	11件	43件	3人	19人
平成25年度(昨年度)	9件	77件	11人	32人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

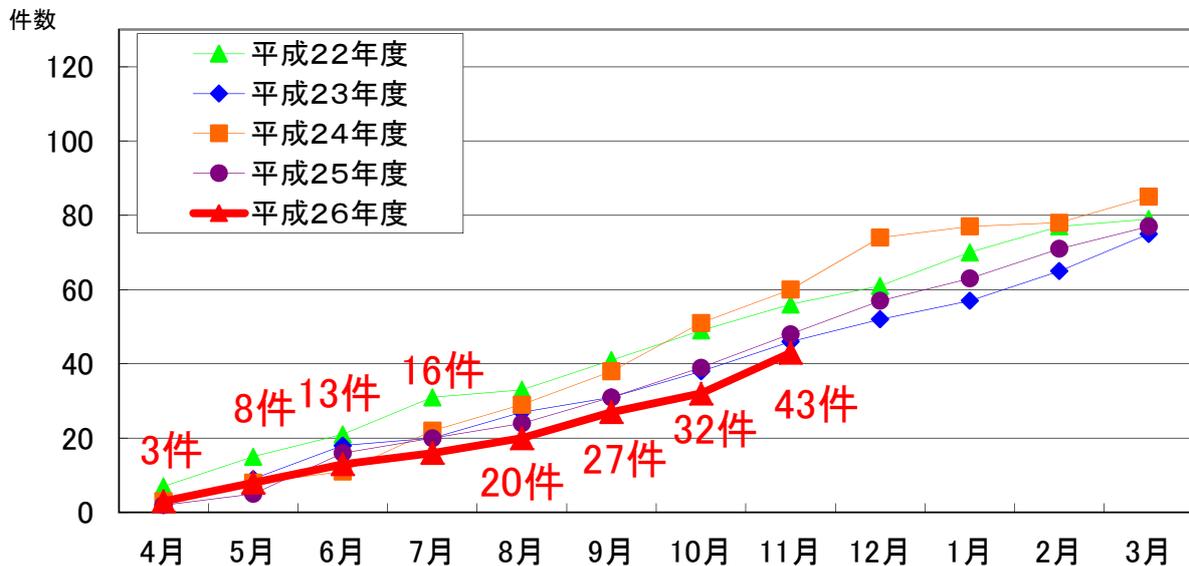
注2) 「11月発生件数」は、11/1～11/30の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成26年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

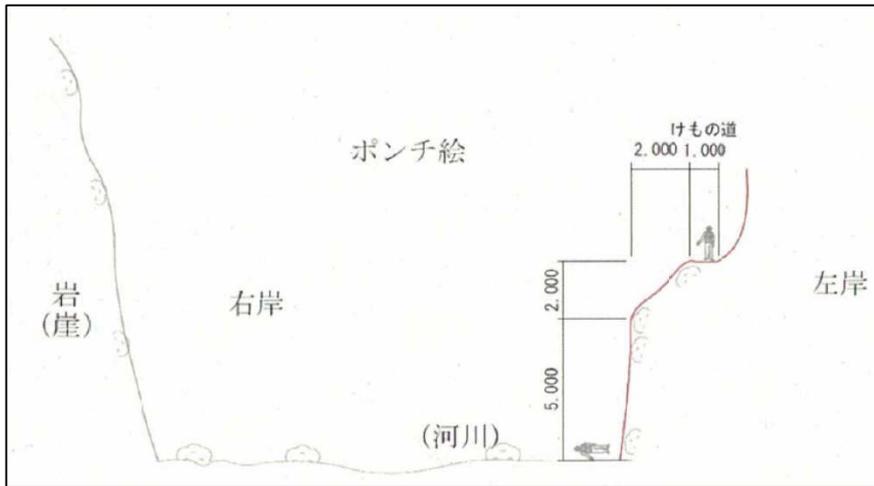
●工事事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)
平成25年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	5件 (3件)	16件 (11件)	20件 (4件)	24件 (4件)	31件 (7件)	39件 (8件)	48件 (9件)	57件 (9件)	63件 (6件)	71件 (8件)	77件 (6件)
平成26年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	13件 (5件)	16件 (3件)	20件 (4件)	27件 (7件)	32件 (5件)	43件 (11件)				

発生日時	平成 26年 11月 12日 (水) 14時 50分			
工事情報	河川系事務所 業務			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	57	測量補助	両手首骨折、左膝半月板損傷、右足踵骨折
事故概要	<p>測量の補助基準点設置作業において、次の観測点への移動のため、けもの道を歩いていたところ、作業員1名がバランスを崩して、7m下の岩場に転落したものの。</p> <p style="text-align: right;">労働災害一準備作業、測量調査業務等における人身事故</p>			

事故発生状況



・測量の補助基準点設置作業において、次の観測点へ移動するため、けもの道を歩いていた。

・その際、作業員1名がバランスを崩して、7m下の岩場へ転落した。



【事故発生原因】

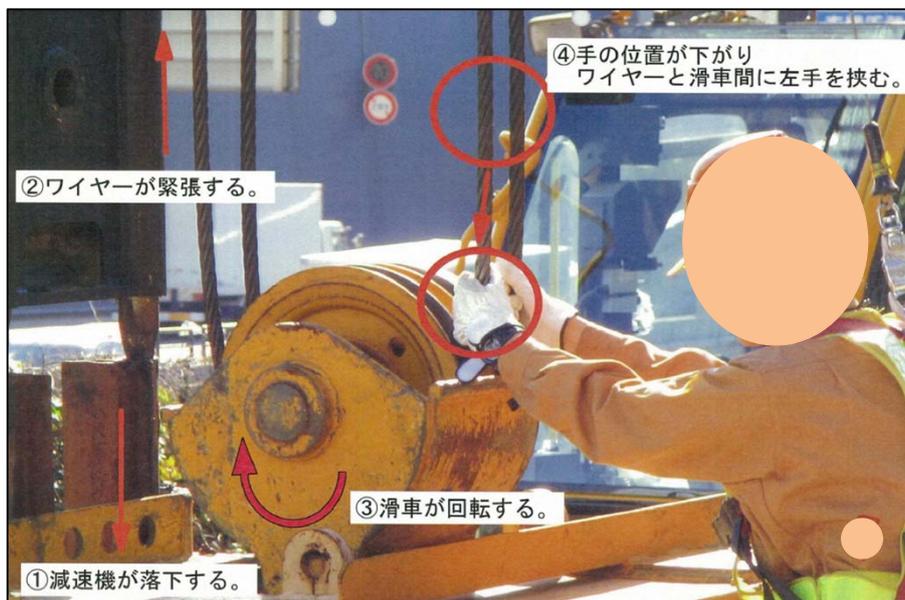
・急峻箇所通行時の安全管理不足など

【事故防止のポイント】

・急峻な箇所を通行する際は、命綱をつけるなどの対策を必要に応じて実施するなど

発生日時	平成 26 年 11 月 14 日 (金) 10 時 30 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	44	作業員	左手小指裂傷
事故概要	アースオーガーの減速機解体中に減速機の固定ピンを抜くため、ワイヤーを持ち揺らしたところ滑車とワイヤーの間に左手小指を挟み、負傷したもの。			
	労働災害-その他労働災害			

事故発生状況



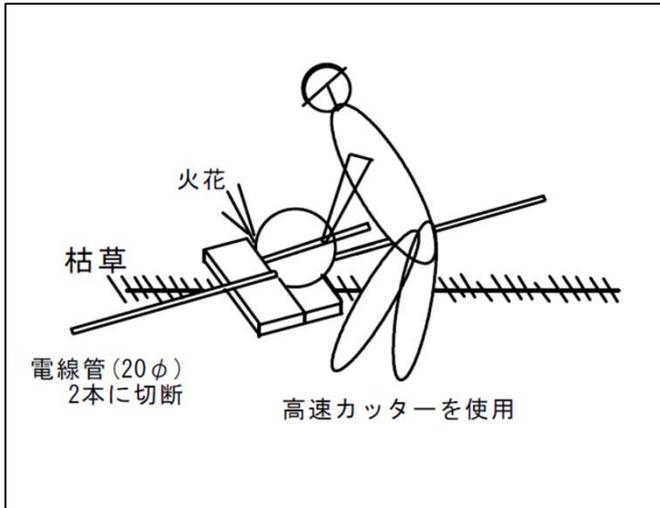
- ・アースオーガー杭打機の減速機を取り外すために、専用架台に減速機を載せたが、減速機が専用架台に引っかかり、高止まりの状況に陥った。
- ・減速機を何回か上下させたが、所定の位置に設置できなかったため、その状態のまま、減速機を解体する目的で固定ピンを抜く作業を実施したところ、ピンが抜けないため、作業員が減速機に乗り、ワイヤーを揺らした。
- ・揺らしたところ、急に減速機の引っかかりが外れ、滑車が回転し、左手の小指が滑車とワイヤーに挟まれ負傷。

【事故発生原因】
 ・高所作業車などを使用して滑車から離れたところを掴むべきところ、高所作業車の使用を省略した など

【事故防止のポイント】
 ・減速機解体の作業手順を周知徹底する など

発生日時	平成 26 年 11 月 15 日 (土) 13 時 30 分			
工事情報	河川系事務所 建築工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	排水機場構内の枯草(約80m ²)焼却
事故概要	排水機場の空調室外機の移設復旧作業中、配線用の電線管を高速カッターを使用して切断したところ、高速カッターから出たと思われる火花が枯草に燃え移ったもの。 公衆損害—その他公衆損害			

事故発生状況



・空調室外機の移設復旧作業をしていた電工が、配線用の電線管を切断するために、高速カッターを使用して配管の切断を行った。

・電工は、そのまま切断した配管を持って移動したが、他の職員が枯草に日が付いているのを発見し、消火を行った。

・高速カッターの火花が、枯草に燃え移ったものとみられる。

【事故発生原因】

・燃えやすい箇所において、火花の散る作業を行った
など

【事故防止のポイント】

・現地状況をよく確認し、現地にあった作業手順等を周知徹底する
など

発生日時	平成 26 年 11 月 17 日 (月) 9 時 15 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	クローラークレーン転倒(被害なし)
事故概要	道路改良工事において、現場内を自走で移動中のクローラークレーンが高さ50cmの法面で転倒したもの。			
	その他事故			

事故発生状況



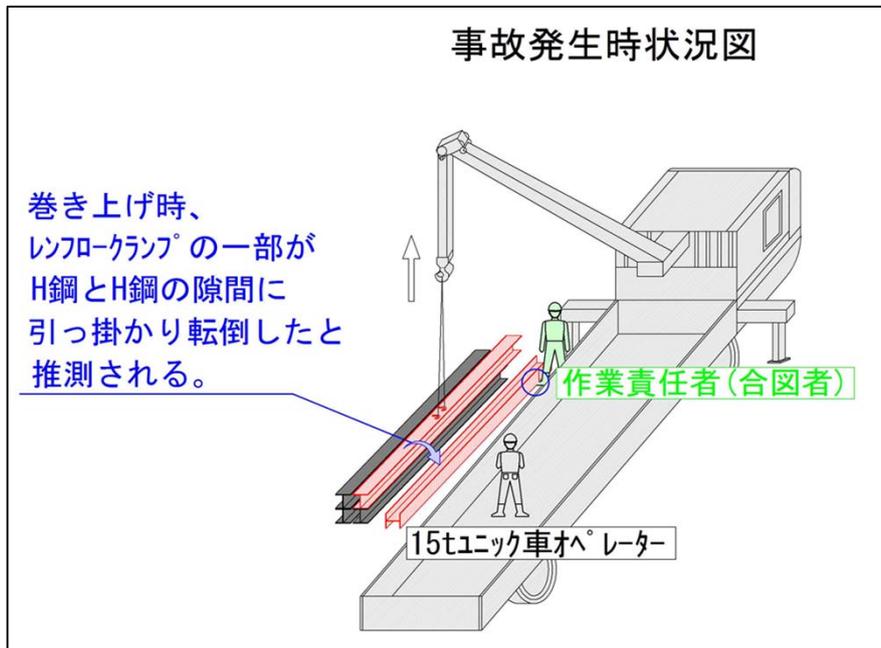
- ・道路改良工事において、クローラークレーン(4.9t吊)が排水構造物工の施工箇所への移動中、高さ50cmの法面から転倒。
- ・法面勾配は、1:1.8で、後ろ向きに段差を降りる途中、重心が後方にかかり、後ろ向きに転倒。
- ・走行時の視認性をよくするために、ブームの角度は50度程度上がった状態であった。
- ・クレーンオペレータおよび第三者被害も含めて、被災なし。

【事故発生原因】
 ・移動時の手順等が周知されていなかった
 など

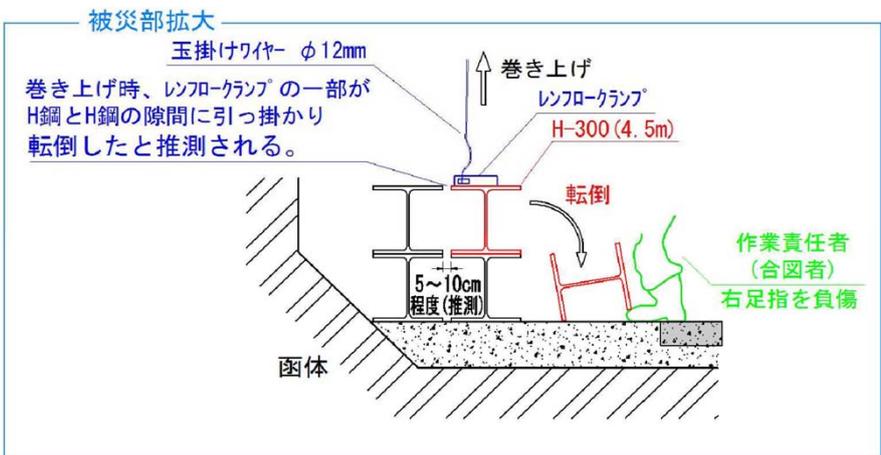
【事故防止のポイント】
 ・移動時の危険予知や手順の周知徹底を行う
 など

発生日時	平成 26年 11月 20日 (木) 15時 15分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	50	土工	右足親指・人差し指 負傷
事故概要	鋼材の荷下ろし作業中、吊っていたユニック車のクレーンを巻き上げたところ、積み上げた鋼材が荷崩れし、付近にいた作業員の右足の上に落下し、負傷したもの。			
	労働災害—その他労働災害			

事故発生状況



- ・被災者は、現場発生品(H鋼)を15tユニック車に積込んだ後、現場発生品置場に移動し、2列2段に置いた後、レフロックを鋼材から外して2段目の鋼材上に置いた。
- ・玉掛ワイヤーを巻き上げたところ、2段目の鋼材が被災者右足の安全靴保護鉄板上に転倒し、被災者が右足指を負傷した。
- ・転倒した原因は、巻き上げ時にレフロックが動き、レフロックの一部が1列目と2列目の鋼材の隙間に引っ掛かったためと推測される。



【事故発生原因】

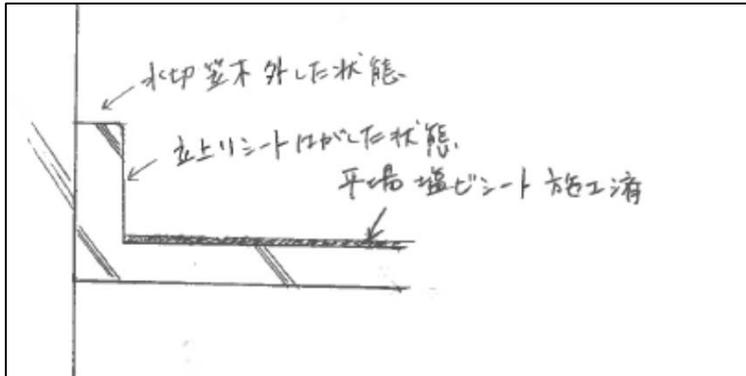
- ・鋼材の付近に作業員(合図者)がいた など

【事故防止のポイント】

- ・合図者は作業範囲外で合図を行うよう徹底する など

発生日時	平成 26 年 11 月 25 日 (火) 19 時 0 分			
工事情報	営繕系事務所 暖冷房衛生設備工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	
事故概要	屋上での防水工において、施工が完了しないまま放置をし、その後の降雨により建物内が漏水したもの。			
	公衆損害-第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



・建物屋上において、水切り金物等の取り付け作業を実施。

・使用する水切り金物が全て納入されなかったため、水切り笠木取り外し作業に移行した。

・水切り笠木取り外し作業完了後、水切り金物が納入されたため、水切り金物の取り付け作業に取りかかり、途中で作業時間が終了した。

・その後、降雨があり、建物内で漏水が確認された。漏水は水切り笠木取り外し箇所から発生していた。

・水切り笠木取り外し箇所は、シート養生等実施していなかった。

【事故発生原因】

・シート養生を行わず、作業を終了し、放置した
など

【事故防止のポイント】

・作業を途中で終了させる場合は、休工時の影響を考慮して、必要な措置を講じる
など

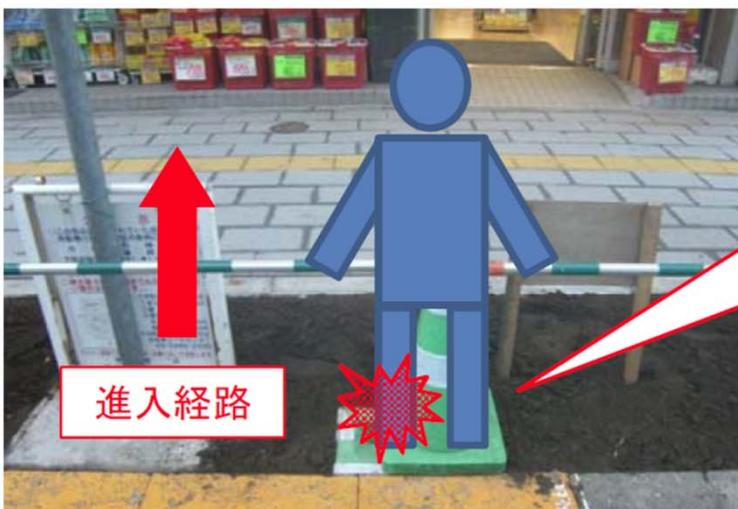
発生日時	平成 26年 11月 27日 (木) 12時 45分			
工事情報	道路系事務所 As舗装工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	51	第三者	左足関節靭帯損傷(全治3週間)
事故概要	横断防止柵設置のための基礎ブロックを設置後、カラーコーンおよびコーンバーにより侵入防止措置のための養生をしていたが、第三者が基礎ブロック開口部に足を引っ掛け負傷したものの。 公衆損害-第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



・新設した植樹帯の中に、横断防止柵基礎を設置し、カラーコーンとコーンバーで侵入防止措置を行っていた。

・そこを第三者が通り、基礎の開口部に足を引っ掛け、負傷した。



被災者はサンダル履きで植樹帯に進出したため、土で汚れるのを嫌い、基礎ブロックに足を乗せたと思われる。

【事故発生原因】

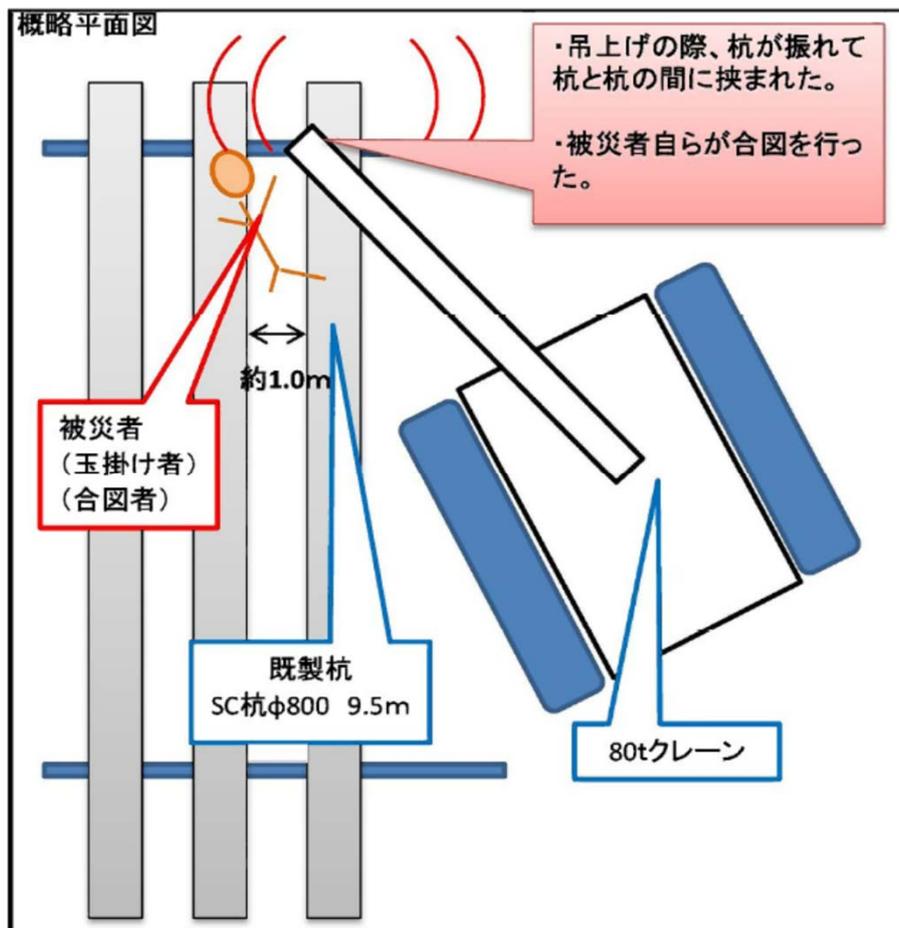
- ・第三者への注意喚起不足など

【事故防止のポイント】

- ・第三者への注意喚起を十分に行い、開口部などは塞いでおくなど

発生日時	平成 26年 11月 28日 (金) 9時 45分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	22	玉掛け	腸腰筋打撲(全治2週間)
事故概要	SC杭を玉掛けし、ヤットコを装着できる位置にクレーンで吊り上げて移動する際、吊り荷が振れ、仮置きしてあった他の杭との間に玉掛け作業員が挟まれ負傷したもの。			
	労働災害-その他労働災害			

事故発生状況



・既製杭工の上杭(SC杭)を玉掛けし、ヤットコを装着できる位置に80tクレーンで吊り上げて移動する際、吊り上げ直後に吊り荷の杭が振れ、仮置きしてあった他の杭との間に玉掛け作業員(合図者)が挟まれて負傷した。

【事故発生原因】

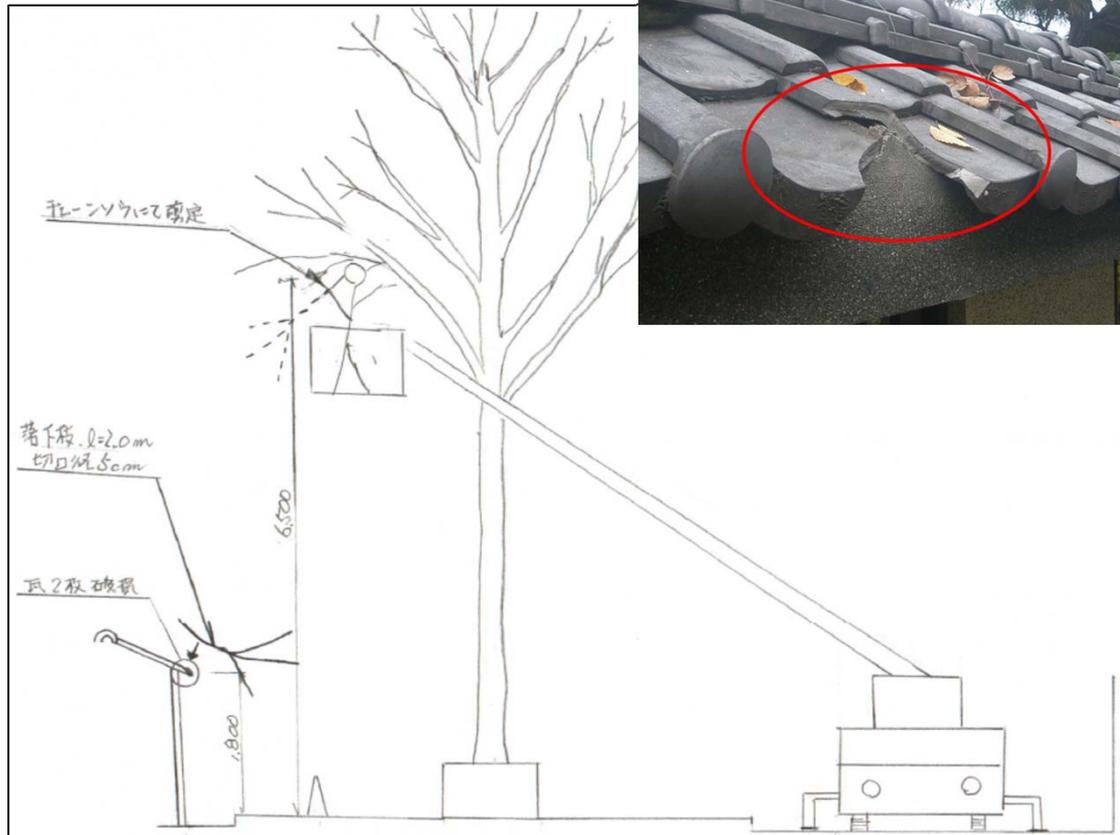
・吊り荷の影響範囲で合図を実施したなど

【事故防止のポイント】

・合図者は作業範囲外で合図を行うよう徹底するなど

発生日時	平成 26年 11月 28日 (金) 11時 15分			
工事情報	道路系事務所 造園工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	民家の塀の瓦2枚破損
事故概要	歩道上にある街路樹の剪定作業を行っていたところ、剪定した枝が近接していた民家の塀の上に落下し、瓦2枚を破損させたもの。			
	公衆損害-第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



- ・高所作業車を使用して、歩道上にある街路樹(高木)の剪定作業をチェーンソーを用いて、実施していた。
- ・剪定した枝は作業帯内に落とそうとしたが、民地寄りに落下してしまい、民地の塀の瓦にあたり、2枚破損させた。

【事故発生原因】

- ・近接構造物に対する安全管理不足
など

【事故防止のポイント】

- ・作業帯外に剪定した枝が落下しないように注意を徹底する
など

発生日時	平成 26 年 11 月 28 日 (金) 14 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	66	オペレータ	死亡
事故概要	橋梁下部の掘削中にミニバックホウが転倒し、オペレータが機械の下敷きになり、死亡したものの。 労働災害-建設機械の稼働に関連した人身事故			

事故発生状況



・橋梁下部の掘削中にミニバックホウが転倒し、オペレーターが機械の下敷きになり、死亡した。(詳細調査中)